



青き楓

島高だより
平成28年11月号
(通巻第128号)

長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

校長室から



表現力を磨こう

校長 野田 定延

先月、世界的なジャズサクソフォ奏者の MALTA さんをお招きして芸術鑑賞会を開催しました。そのパワフルで繊細な演奏は、私たちの心に多くの夢と感動を与えてくれました。MALTA さんの音楽への思いや、若者への期待も十分に感じ取ることができました。音楽による素晴らしい表現だと思います。ライブ中に繰り返された「ワーオ！」もまた、彼の内面の表現でしょう。

この秋、島高生にも数多くの表現の場がありました。中地区演劇発表会、県高校美術展、県高校弁論大会、県高校英語スピーチコンテスト、放送コンテスト、理科数課題研究中間発表会、島原市民音楽祭、オリジナルTシャツファッションショー、…などです。文芸部の演劇は難しい台本であったにも関わらず、登場人物一人ひとりの魅力が伝わりました。そして、何よりも文芸部の皆さんの演劇への思いが心に響きました。美術部の作品は50号という大きなキャンバスに重ねられた絵の具に、制作者自身の内面やモチーフに対する独自の視点を感じ取ることができました。また、久しぶりに本校から出場した県高校弁論大会では「本当にそれでもいいの？」という演題で、18歳選挙権についての意見が述べられました。大人では気づけない高校生独自の視点で語られたその内容には私も考えさせられました。このような多くの表現の場を通して、皆さんの中に「表現力」が磨かれていっているのだと思います。

「表現力」は、生きていくうえで大切なものの一つであり、全ての人々がそれぞれの人生を通じて磨き豊かにしていくものです。私はその表現力を身につける絶好のチャンスが高校時代であると考えます。それでは、どのようにすれば豊かな表現力を身につけることができるのでしょうか。コンテストや大会に出なければ身につかないのでしょうか。それはそれでとても大切なことです。私はそうは思いません。毎日の高校生活にこそ、表現力を磨き豊かにするきっかけがたくさんあると思います。表現力とは自分の考えや意見を相手に分かるように伝える方法ですから、まずは自分の考えや意見が無ければ表現のしようがありません。そこで、学校行事、部活動、読書など、学校生活の中で自分の意見や考えを持つことや感じる事が重要になってきます。しっかりと自分の意見や考えを持つことで、皆さんの中に自信が生まれることでしょう。そのうえで、授業のグループワークでは大きな声で自分の考えを堂々と述べることで、学校行事の準備では自分の意見をはっきり述べることで、部活動では、恥ずかしがらずに自分の姿を出し切ることで、いざという大きな場面（コンクール、大会等）で自分自身を堂々と表現できるのは、そういった毎日の積み重ねによって表現力を磨くしかないのでした。

皆さんには自分の考えをしっかりと持ち、それを伝える豊かな表現力を身につけて欲しいと思います。将来、皆さんが目標としているステージで、のびのびと自己を表現してくれることを期待します。

12月の主な行事予定

1日(木) 期末考査(～2日 2年) (～7日 1年)	17日(土) 県下一斉実力テスト(1・2年) 3年センター試験プレテスト(～18日)
3日(土) 土曜講座(2・3年) 2年GTEC	19日(月) 1・2年三者面談(～22日)
5日(月) 3年三者面談(～16日)	22日(木) 終業式・大掃除
6日(火) 2年修学旅行(～9日)	24日(土) 冬季補習 ※早朝補習なし (～27日 全学年)
10日(土) 土曜講座(1・3年) 1年小論文模試	28日(水) 3年年末センタープレテスト(～29日)
12日(月) 19時完全下校徹底週間(～16日)	29日(木) 年末年始休暇(～1/3)
歳末助け合い募金(～16日 校内)	31日(土) 閉館
歳末助け合い募金(～13日 街頭)	

■島原高校の同窓会総会は、毎年10月の第4週の土曜日に開催されます。今年は、10月22日(土)にホテル南風楼にて、約350名の同窓生が集いました。本年度の総会で7年間会長を務められた高城昭紀氏(高11回)に替わり、副会長の星野親房氏(高14回)が新会長に就任されました。当番幹事はその年還暦を迎える学年が務めます。今年は高27回生とその補佐役として高37回生も加わり、盛大に行われました。今は無くなってしまった？白い三本線の学生帽を被った応援団長と応援団の登場もまた毎年恒例の一大イベントです！



■このほか「関西同窓会」(6月)、「福岡普賢会」(8月)、「長崎普賢会」(9月)、「関東同窓会」(10月)、「有明島高会」(11月)が開催されています。特に、大学生は大歓迎！で無料で参加できるよう、先輩方が心配りをして下さい。皆さんも卒業後は是非参加して下さい。各地区の詳細は島高同窓会のHPに写真掲載で掲載しています。

■島高同窓会では年2回同窓会誌を発行しております。平成29年1月発行の同窓会誌第32号は、女優として活躍中の宮崎香蓮さん(高64回)の特集です。保護者の皆様もどうぞお楽しみに！



■『伝統とProgress』—先輩方が築かれた長い歴史と伝統の上に、117年目の私達が在ります。皆さん一人ひとりが、島高生の一員としての自覚を持ち、さらなるProgressを目指して日々頑張ります！

島高青楓塾

社会の第一線で活躍されている先輩方のお話をうかがう「島高青楓塾」。
11月2日(水)、本校第52回生の坂上祐樹氏の講演が行われました。

教務部 荒木 良太

◇講師紹介

坂上 祐樹(さかがみ ゆうき)氏 厚生労働省救急・周産期医療等対策室長
在学中は剣道部に所属。長崎大学医学部卒業後、五島中央病院に勤務。
その後、厚生労働省に入省し、平成28年7月より現職。

◇演題「医療+官僚=??～皆さんの選択肢n→∞～」

「離島医療」を志し医師になったが、実際に現場で働くうち「現場のために医療のしくみを変えたい」と思い、医系技官になった。部活動引退後、死にものぐるいで勉強して医学部に合格できたが、剣道で培った体力や集中力が非常に役に立った。一見無駄に見えることこそ大事。そして世の中には、まだ自分の知らない職業がたくさんある。その意味で、みなさんの選択肢は無限大である。

◇生徒感想より

・一見、将来に直接結びつかないように見える部活動なども、自分の糧にすることができるんだなあと思いました。将来に直接関係ないような「無駄なこと」を経験できるのは、この高校時代、大学時代だと思います。
・先生は官僚をめざしたきっかけを話す時に、「青臭いけれども」と何度かおっしゃった。私はそういう気持ちもまた大切なのではないかと思った。



島原高校ここにあり島高同窓会

同窓会事務局
長 陽子

◆主な部活動実績等◆

(11月2日実施分まで掲載)

剣道部

第15回宮崎県武道館旗争奪高等学校剣道競技大会
男子 団体 3位

平成28年度長崎県高等学校中地区新人体育大会剣道競技

男子 団体	1位		
個人	1位	林田 拓朗	
	2位	黒川 雄大	
女子 団体	1位		
個人	1位	松田 美結女	
	3位	大園 望友	



弓道部

平成28年度第35回全国高等学校弓道選抜大会長崎県予選会
女子 個人 2位 堀川 紗奈

税に関する高校生の作文

長崎県県央振興局長賞	吉岡 萌々花
島原税務弘報協議会 会長賞	内田 乃愛
島原税務弘報協議会 優秀賞	永吉 史明

美術部

平成28年度長崎県高等学校総合文化祭 美術部門

優秀賞	松本 唯	
優良賞	柴田 美桜	松尾 采奈
	藤谷 百花	

放送部

平成28年度長崎県高等学校総合文化祭
第38回九州高校放送コンテスト県央地区大会

朗読部門

優秀賞 江越 仁弥 前田 理子

アナウンス部門

優秀賞 大渡 碧



陸上部

平成28年度(第68回)

長崎県高等学校総合体育大会 駅伝競走大会

男子 15位
女子 11位

理数科1年☆地学巡検



理数科1年6組は、10月26日(水)に島原半島ジオパークの巡検に出かけました。最初の垂木台地では、1991年6月に襲った火砕流堆積物が見られました。噴火前の黒い地面の上に縞模様の火山灰や火砕流堆積物が重なっており印象的でした。

雲仙岳災害記念館の見学の後、西有家の亀石海岸では雲仙火山の最下部を見学しました。土石流堆積物の重なる地層から、雲仙火山の成長がわかりました。口之津町早崎で。は、島原半島で最も古い火山の観察をしました。海岸では噴火口から飛び出した岩塊や溶岩流が見られ400万年も前に噴火したとは思えないくらい新鮮な崖でした。

最後の加津佐町津波見の両子岩では200万年前の安山岩を観察しました。ここでは木の化石がオパール化している石を拾うことができます。割れ口が美しいあめ色の化石を求めて、みな必死です。数名がお目当ての石を見つけられ満足そうに帰りました。この日は天気もよく無事に巡検を終えました。



島原市民音楽祭

管弦楽部 原 亜由美

11/13(日)、島原文化会館にて第37回島原市民音楽祭が開催され、本校合唱部、管弦楽部が出演しました。ご来場くださった皆様、ありがとうございました。



高大連携出張講座

進路指導部 小佐々 慎也

10月28日(金)に、長崎大学、佐賀大学から講師をお迎えし、出張講義を行っていただきました。1・2年生全員を対象に自己の進路希望や興味に合わせて、設定された全19講座の中から一人2講座を選択し、学部・学科の特色や研究内容の説明、模擬授業を含めた講義を体験しました。

講師の先生が大学で研究されている専門的な情報にふれたり、個々の大学や学部の具体的なことができ、「大学」や「大学での学び」について興味が高まったようです。



情報モラルマナー教育

研修広報部 田中 雄一郎

11月16日(水)、独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンター(IPA/ISEC)普及グループ主幹の石田 淳一様を講師に招き「インターネットは善か悪か?」というテーマで講演会を実施しました。騙されないため、また加害者にならないための対策を学びました。



人権同和教育

保健相談部 松本 寿男

11月9日(水)、人権同和教育を実施しました。「障害者のこと(お互いのこと)を知ることから始めよう」「差別と区別の違い」「人権とは?」などのテーマについて、映像や新聞記事のスライドを通して学び、多様な人々が暮らすこの世界で、今後私たちはどのように振る舞ってゆけばよいのか、考えるひとときを持つことができました。



ワンストップあいさつ徹底運動

生徒会指導部 吉川 薫

規律委員会の取り組みとして、規律委員と生徒会の生徒たちが11月から3ヶ月間、月に3日、朝7:15~7:25、生徒玄関前等で「ワンストップあいさつ徹底運動」を行っています。★ワンストップあいさつ心得…①必ず立ち止まって、②大きな声であかるく、③相手をしっかり見て、爽やかな気持ちで一日を始めましょう!



乳幼児ふれあい・妊婦体験活動のご協力ありがとうございました**

1年生家庭科の「乳幼児ふれあい・妊婦体験活動」が、全クラス無事に終了しました。全6回の活動に、148名の乳幼児親子が参加してくださいました。また、妊婦体験では、1年生だけでなく、2・3年生、卒業生のお母さんたちがボランティアでお手伝いをしてくださいました。ありがとうございました。

家庭科主任 松尾 恭子

島原半島中高学力向上対策検討委員会 英語科研究会

英語科 林田 文香

11月14日(月)、本校にて「島原半島中高学力向上対策検討委員会英語科研究会」が開催されました。英語の授業公開や2年3組での研究授業、中学校と高校の英語教員での研究協議が行われました。島原半島の英語科の先生方が集まり、地域の英語教育について意見交換を行いました。



部活動生支援学習会

生徒会指導部 白壁 泰幸

11月15日(火)~17日(木)、体育部所属の1年生に対して、学業と部活動を両立させることを目的に、部活動支援学習会を実施しました。26名が参加、多くの生徒たちが宿泊を伴う合宿をし、英数国を中心に学習に励みました。

